

貸 借 対 照 表

2013年12月31日現在

(単位: 円)

科目名	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	6,271,919
現金	14,031
当座預金	
津山信用金庫本店	
普通預金	6,257,888
中国銀行津山支店	4,289,665
鳥取銀行津山支店	612,879
津山信用金庫本店	1,355,344
定期預金	
津山信用金庫本店	
立替金	
未収入金	372,047
事業仮払金	40,500
貯蔵品	
流動資産合計	6,684,466
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	6,801,966
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	239,940
預り金	3,070
源泉税預り金	3,070
その他預り金	
仮受金	0
流動負債合計	243,010
2. 固定負債	
	0
	0
固定負債合計	0
負債合計	243,010
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,235,579
正味財産合計	5,235,579
負債および正味財産合計	5,478,589

正味財産増減計算書

2013年1月1日から2013年12月31日まで(単位:円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	350,000
受取入会金	350,000
受取会費	8,850,000
正会員受取会費	8,850,000
事業収益	9,641,428
登録料収益	9,091,520
業務受託収入	
雑収入	549,908
受取補助金等	1,500,000
受取国庫補助金	
受取地方公共団体補助金	1,500,000
受取民間補助金	
受取寄付金	1,422,300
受取寄付金	1,422,300
募金収益	
雑収益	558,787
受取利息	1,132
その他雑収入	111,655
津山市民憲章受託費	264,000
OB会通信費	182,000
経常収益計	22,322,515
(2) 経常費用	
事業費	16,620,428
会場設営費支出	201,213
人件費支出	30,000
会場費支出	61,295
設営費支出	109,918
企画・演出費支出	4,702,611
演出費支出	4,702,611
本部団関係費支出	1,014,000
設営費支出	1,014,000
渉外費支出	
講師関係費支出	42,622
記念品代支出	42,622
資料作成費支出	394,141
作成費支出	394,141
保険料支出	198,425
雑費支出	30,960
委員会運営費支出	10,036,456

管理費	5,084,224
会議費	412,300
役員報酬	
給料手当	2,340,837
退職給付費用	
福利厚生費	
旅費交通費	
通信・発送費	235,949
消耗品費支出	359,293
リース料支出	114,660
印刷製本費支出	599,500
光熱水料費支出	128,022
賃借料支出	442,193
業務委託費支出	31,500
インフォメーション関係費支出	
渉外費支出	302,950
雑支出	117,020
負担金支出	884,803
JCI負担金支出	52,628
日本JC負担金支出	340,000
地区協議会負担金支出	29,500
ブロック協議会負担金支出	118,000
国際協力資金支出	107,675
日本JC出向者負担金支出	60,000
We Believe購読料支出	177,000
経常費用計	22,589,455
当期経常増減額	△ 266,940
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	
(2) 経常外費用	
経常外費用計	
当期経常外増減額	
当期一般正味財産増減額	△ 266,940
一般正味財産期首残高	5,502,519
一般正味財産期末残高	5,235,579
Ⅱ 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	
指定正味財産期首残高	
指定正味財産期末残高	
Ⅲ 正味財産期末残高	5,235,579

財 産 目 録

2013年12月31日まで

(単位：円)

科目名	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	6,271,919
現金 現金手許有高	14,031
普通預金	6,257,888
中国銀行津山支店 口座番号1281389	4,289,665
鳥取銀行津山支店 口座番号67038	612,879
津山信用金庫本店 口座番号0659314	1,355,344
立替金	
未収入金 社会保険料調整分等	372,047
事業仮払金 次年度会議費等	40,500
貯蔵品	
流動資産合計	6,684,466
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金 津山森林組合出資金235口	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	6,801,966
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金 事務局員給与、交通費、社会保険料	239,940
預り金 源泉所得税他	3,070
仮受金	
流動負債合計	243,010
2. 固定負債	
固定負債合計	
負債合計	243,010
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,235,579
正味財産合計	5,235,579
負債および正味財産合計	5,478,589

物 品 管 理 会 計

資産の部	摘 要	金 額
	1. 受信用電話機セット	10,000
	2. 書庫 1. ファイリングキャビネット	19,550
	2. 事務用ロッカー	真庭JC15周年記念品
	3. 会議用ロッカー	20,000
	4. 書庫(大・上下)	24,000
	5. 書庫(大・上下)	44,000
	6. 書類収納用ロッカー(階下)	15,500
	3. 例会用パネル 3枚(含新マーク)	70,000
	4. 例会用演題	15,000
	5. 特別会員ネームプレート	44,000
	6. 私書箱	21,500
	7. 事務机2台 椅子1脚	23,250
	8. 事務机	3,500
	10. 裁断機	2,800
	11. JC旗用三脚	7,200
	12. 手揚げ金庫	4,160
	13. 絵画	OB会より25周年記念品
	14. テント 4張り	1982・83・85年度卒業生記念品
	15. 書庫	美作JC15周年記念品
	16. ホワイトボード	美作JC15周年記念品
	17. ロッカー上置戸棚 1set	92,700
	18. 会議用テーブル(1)、椅子(4)	1990年度卒業記念品
	19. レターケース	20,720
	20. テレホンスタンド	15,750
	21. 留守番電話機	37,080
	22. ADSLモデム一式	30,000
	23. 例会用看板・城下町宣言タペストリー	60,000
	24. 無線LAN BBルーター	7,980
	25. シュレッダー	2005年度卒業記念品
	26. 特別会員ネームプレート	2005年度卒業記念品
	27. JCIマーク入りLOM旗 一式	2006年度卒業記念品
	28. JCIマーク入り法被一式	2005・2006年度卒業記念品
	29. 会議用長パイプ椅子 6脚	20,317
	30. LOM会計ソフト(バランスマン)	68,000
	31. リソグラフ印刷機 RZ570 1台	283,500
	32. 会議用長テーブル 3台	2007年度卒業記念品
	33. フロントアPC・周辺機器一式	2007・2008年度卒業記念品
	34. PC用外付ハードディスク	2009年度卒業記念品
	35. プロジェクター用スクリーン	2009年度卒業記念品
	36. キヤノンレーザープリンターLBP3310	2010年度卒業記念品
	37. テント 1張り	2011年度卒業記念品
	38. 書庫 4台	2012年度卒業記念品
	39. プロジェクター	2013年度卒業記念品
物品管理会計の資産取得額の合計		960,507
2013年度取得 プロジェクター		2013年度卒業記念品

一般社団法人 津山青年会議所

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

監査報告書

一般社団法人 津山青年会議所
2013年度理事長

光岡宏文 殿

2014年1月8日

一般社団法人津山青年会議所

監事 田村 泰庸



監事 仲西 祐一



私たちは、2013年1月1日から2013年12月31日までの会計年度における会計及び監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査報告

- (1) 貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

3. 監事講評

2013年度は、光岡理事長のもと「今こそ和っしょい！」～心一つに、力強く盛り上げていこう～をスローガンに掲げて事業を展開されました。

中国地区コンファレンスでは、開催地LOMとして素晴らしい力を発揮し、美作国建国1300年では記念事業として模擬天守閣の復元を成功させ、津山市民だけでなく岡山県内を始め中国地区のJCメンバーから沢山のお褒めの言葉をいただきました。まさに光岡理事長が掲げられたスローガンを反映した成果が残せたと思います。

LOMの事業では各委員会・プロジェクトが委員長・キャプテンを中心に組織が一つになって事業に取り組みことで、参加者、協力者等の事業に関わった人達にもしっかりと私たちの想いを伝える事が出来たと思います。

2013年は(一社)津山青年会議所の会員の理事役員は勿論の事ですが、入会年度の若い会員の活躍が目立った1年だと感じています。入会年度が3年未満の会員が半数近い現在の状況の中で、まさに本年度のスローガンのような想いをもち力を合わせる事が今後必要不可欠だと思います。

2014年度もこの勢いのままに益々のご活躍と発展を期待して監事講評とさせていただきます。